大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成３０年度　学校通信　平成３０年１１月１日　No.２４

生徒会選挙　新会長に小山田君！

24日、生徒会役員改選の立ち合い演説会及び投票が行われました。どの候補者も理想とする西仙北中学校の姿をイメージして、「地域と共に」のなお一層の推進、一人一人が輝く学校、伝統を引き継ぎ達成感のある学校、あいさつの響き合う学校、毎日来たくなる学校など、自分の創り上げたい生徒会等について、熱く語ってくれました。どの候補者も想いが感じられる公約でした。手話で歌を歌った候補者もいました。

なお、投票は、西仙北支所から借りた、投票箱と筆記台で行われました。国政選挙や県議会・市議会選挙などでも使われる本物体験でした。

その結果、これまで学校生活をリードしてきた３年生光輝学年に代わり、これからの西仙北中学校を牽引する新役員が決定しました。

生徒会長　２年　小山田君
副会長　２年　岡田君　２年　瀧澤さん

この後、執行部員や各専門委員長たちが委嘱され、各学級役員とともに認証後、活動がスタートします。８年目の西仙北中学校も輝く学校にできるようお願いいたします。期待しています。

仙教研社会科　1年A組研究授業

10月25日は、大曲仙北教育研究会という教職員の研究団体の一斉の研究大会の日でしたが、本校では、１年Ａ組の皆さんが山内先生と共に、社会会科地理分野の研究授業を行いました。研究会では、大曲仙北社会科教育研究会員の先生方約100名が授業を参観して、その後、授業研究会を行いました。本校の生徒については、表情が明るく、ワールドカフェ方式の意見交換が機能していたという感想をいただきました。

ちなみに、授業後は、学習した南米産のバナナを食したようです。西仙北小学校でも授業参観が行われ、講演会の講師は柳葉さんだったそうです。皆さん、お疲れ様でした。

SNS等情報モラルいじめ対策講話

10月26日、「平成30年度ＳＮＳ等情報モラルいじめ対策講話」を、大仙警察署生活安全課少年係村上主任専門官を講師にお迎えして行いました。これは、これからの情報社会で豊かに生きる資質や能力、知識を学ぶとともに、インターネットやＳＮＳ等を通じて起こるトラブルやいじめ、犯罪を未然に防止する力や問題に効果的に対応する能力を養うことをねらいに、大仙市教育委員会が毎年開催するように計画している事業です。

今回は、はじめにＤＶＤで、ＳＮＳ等で起こりやすい、また、実際におこっている事案等について紹介があり、その後、村上主任専門官から大仙警察署管内で実際に取り扱った事例をもとに、注意すべき点等を話していただきました。個人情報の発信時の注意とその責任、ワンクリック詐欺やリベンジポルノ等の怖さ、誤解から生じる仲間はずれやいじめなど、具体的な事例を示しながら、今後の適切な使用等について考えさせてくれました。

生徒たちは、この後、家庭でもＳＮＳ等の使い方等のルールを、それぞれ定めることとしています。保護者の皆様のご指導もよろしくお願いいたします。

卓球部各種大会参加　奮闘中！

12月の全県中学校新人大会の出場を決めている本校卓球部ですが、各種招待大会にも出場して奮闘中です。

10月27・28日は、田沢湖スポーツセンター杯卓球大会に出場しました。県内14校の出場で、本校は出場校中中位の成績だったそうです。お疲れ様でした。

11月4日には、「能代市風の松原中学校大会」に出場し、また、17日には、横手市中学校卓球強化事業にも参加する予定です。そして、18日には球

納め会を行って３年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、23日には、美郷町オープン卓球大会に出場し、12月15・16日は、全県中学校秋季大会です。経験を重ね、自分とチームを鍛えろ！　卓球部ファイト！！

3年進路PTA開催

10月29日、３年進路ＰＴＡを開催しました。運動部は夏に１・２年生に活動をバトンタッチし、駅伝部も９月の全県大会まで頑張りました。生徒会最大行事の学校祭「立志祭」も盛会裡に終え、生徒会役員選挙では次期会長等も決まりました。吹奏楽部の定期演奏会等が行われれば、３年生全体が、これまでのリーダーとしての役目に一区切りを付けることになります。

いよいよ自分の進路決定に集中する時期です。そこで、受検前に押さえておくべき情報や入試関係の日程、必要書類の書き方、注意点などを確認する意味も込めて進路ＰＴＡが開催されました。何よりも生徒が自分の将来を見据え、よりよい進路先を決定できるように、本人を真ん中に据えて、保護者と学校が支えていけるように努めたいと思います。連携、ご支援ご協力をお願いいたします。

アップル先生　お別れ会

10月31日、本校で一か月研修した、タイ王国デーブシリンロムカーオ学校のアップル先生とのお別れ会を行いました。３年生の時田さんが一緒に通学した想い出や授業等について話すとともに、３年生の斎藤さんが花束を贈って、感謝の気持ちを伝えました。アップル先生からは、涙ながらに本校の生活を振り返ってもらいました。また、生徒には、秋田について、ぜひ、世界に発信できるように英語の勉強を頑張ってほしい旨の激励もありました。

アップル先生には，一か月間英語の授業を中心にご指導をいただきました。また、タイ王国の文化やことばなどについても教えていただきました。立志祭への参加や駅伝大会の応援、「なべっこ」でのタイの味の披露などもあり、生徒たちは国際交流を実際に毎日の生活で体験できました。何よりも、グローバル社会に向け英語の重要性を認識できたように思います。本当に得ることの多かったアップル先生との一か月でした。アップル先生、

「ขอขอบคุณ　（コォープクゥンカップ、ありがとうございました）」

なお、アップル先生は，本校での研修は終えましたが、この後11月は西仙北高校で研修を続けられます。引き続き刈和野にお住まいになる予定ですので、町で出会うこともあると思います。そのときは、積極的に声をかけてください。アップル先生も喜ぶと思います。

指導主事学校訪問

10月31日、秋田県教育庁義務教育課の浅沼指導主事、南教育事務所仙北出張所の小田長指導主事に学校訪問していただきました。３年Ｂ組は、数学の授業を１時間じっくりと見ていただくとともに、全ての学級の授業を参観していただきました。

浅沼指導主事は、長野県から人事交流で今年度秋田県にお出での先生でした。お二人からは、本校の掲示物等の教育環境のよさや授業中の生徒及び教員の表情のよさを褒めていただきました。また、体育では有効なトリオ学習が見られた。各教科の題材が生徒の必要感に迫るものであった。個性の伸長や基礎学力の定着を図るための指導や全校体制での複数の目による指導の取組は、今後も継続してほしいとお話いただきました。

その上で、少人数指導やＴＴによる指導の有効な方略やスキル、指導方法や指導体制の工夫改善のチェックポイントとともに、指導と生徒の学力の検証として各種調査結果や毎日の振り返り、単元評価問題等を有効に活用するようご指導をいただきました。また、生徒一人一人を大事にしている学校だからこそ、個の考えがグループ学習でも生かされ、それがまた全体の学びに還元されるような学習の流れを構築すること、複数の教員による指導はその教員の見方・考え方を生かすことが大切であることなどのご指導もいただきました。ＴＴによる指導は生徒にとってはもちろんメリットがあるが、先生方にとっても研修（ＯＪＴ）として有効であることや、生徒が探究的になる学習問題・課題の提示を研究することで深い学びになることなどに気付かせていただきました。ありがとうございました。今後の指導に生かせるように努めたいと思います。